



# 大森六中だより

令和5年 7月号  
大田区立大森第六中学校  
統括校長 菅野 哲郎  
TEL 3726-7155

六中だよりはHPからも  
ご覧いただけます。



## 出会いを大切に

毎朝、正門で挨拶をしながら、生徒の様子を見てみると、多くの生徒は何かしら反応はありますが、気持ちのいい挨拶（目を合わせて、言葉を相手に届けて、笑顔でお辞儀をすること）ができる生徒は100人に満たないのが実情です。

7月4日(火)から6日(木)まで、2年生は職場体験を実施しました。事後に各事業所から届いたアンケートには、概ね生徒の取り組む姿勢を高く評価いただいた言葉が記されています。その評価の元となったのは、仕事に当たったときの笑顔や挨拶、指示に対する返事などのコミュニケーションの力です。

人が生きていく上では、様々な事で、他人の恩恵を受けています。例えば、身に着ける洋服にしても、食べる食糧にしても、誰かが作った物無しに生活することはできません。そして、どのような仕事も誰かと協力して取り組むこと無しには、成しえませんが、その協力を得るために必要なのは、コミュニケーションの力です。自分の姿を、他人の眼で見て協力したいと思うか振り返ってみてください。

生きていく上で、人との出会いは大切です。初めて会う人と挨拶を交わすときに、気持ちのいい挨拶が返ってくれば、その人と一緒に仕事をしたいと思うでしょうし、その人を支援したいと思うはずです。勉強よりも大切な事を、全ての生徒が社会に出る前に身に付けてほしいと思います。

## 総合防災学習

3年生は7月8日(土)に総合防災学習に取り組みました。これまでは、総合防災訓練として避難所運営を模擬体験して、防災意識を高めてきました。今年度からは避難所で中学生が担えることを全員がワークショップで学ぶ形に改めました。

3年生は、1年生で「そなエリア」を訪問し、2年生では「防災館」の訪問とまちなか点検（今年度は1年生）を実施し、修学旅行では震災講話を聴きました。

今回のワークショップの内容は、東京都栄養士会の方に避難生活における食の問題を、日本体育大学大学院生の方に避難生活時の健康と運動を、田園調布警察署警備課警備係の方々に災害発生時の居場所ごとの危険の想定を、田園調布消防署雪谷出張所の方々と田園調布消防団第九分団の方々に災害発生時の人の運搬をご指導いただきました。

閉会式の各講師の方からのご講評では、生徒の真剣に学ぶ態度について評価いただきました。人の話を最後までしっかり聞くことが身につけている3年生は、まさに六中の顔の姿です。生徒からは、閉会式でワークショップ毎と全体を通したお礼の言葉を述べ、最後に、予定されてはいませんでしたが、修学旅行の震災講話の後や入村式でも歌った「いのちの歌」を無伴奏で歌い上げました。各講師の方からは「感動しました」とのお言葉を頂きました。ありがとうございました。

# 持続可能な社会の担い手づくり

大田区立大森第六中学校 研修ユネスコ委員会

## 学校図書館

本校の図書室には、読書学習司書の方が配属されています。読書学習司書が在籍する図書室は、明らかに雰囲気が変わります。司書が配属される前は、教員が担当していました。担当の専門性で選書が偏ってしまう、じっくりと時間をかけて選書できない等が課題としてありましたが、司書がいらした時から、図書室の雰囲気が変化しました。前任の饗場司書がいらした時も、今のSDGsコーナーを作っていただき、生徒の目に触れる工夫をしていただきました。

今年度着任された林育美 読書学習司書も、季節を感じさせる掲示物、手に取りやすい並べ方、学校の特色をつかんだ選書に工夫があり、GoogleClassroom を開設するなど、新たな学校図書館の息吹を感じています。

昨年度から始まった「都内4区合同ブックトーク交流会」を今年度も実施する計画です。今から司書さんによる助言が楽しみです。

只今、夏休みに向けて5冊の本を貸し出し中です。



## 校内研修～未来創造科～

令和四、五年度の2年間にかけて取り組んでいる大田区教育委員会研究推進校としての発表が1月29日にあります。本校のESD(持続可能な開発のための教育)は年々進化し、持続可能な社会の担い手づくりから、未来を創造する力を持つ人材育成を目指しています。

未来を創造する力として、OECD(経済協力開発機構)では、「社会を変革し、未来を創造するコンピテ

ンス」の重要性を指摘しており、「トランスフォーマティブ・コンピテンス」と名付けて定義しています。

- ・新たな価値を創造する力
- ・対立やジレンマを克服する力
- ・責任ある行動をとる力

の3つに構成し、この能力を身につけるためには、「見通し、行動、振り返り」という3つの学習プロセスが重要であると述べています。そこで、本校は、1から2学期にかけて現在の生徒の力を把握し、この先必要となる力の育成と、そこから生まれる成果を、研究授業を通して、研究協議しています。

各教科で世界的規模の課題を意識し、(たとえばSDGs17項目)をカリキュラムに組み込み、授業の中で探究学習として生徒に取り組ませています。

シビック・アクションのプログラムで取り組んでいる、食ロス問題、平和問題、環境問題の3分科会に教員も分かれて、研究授業を今後2回6クラスで行い、1月には大田区の小中学校へ発信する予定です。生徒の力を各教科の授業やさまざまな教育活動の中で育むことに取り組んでいます。ご期待ください。

(写真:上から2年理科、3年国語、1年英語)





## 第三学年 学校防災訓練

7月8日（土）に3年生が学校防災訓練を行いました。講師の方に来ていただき、人の運搬や避難生活時に役立つスリッパ作りを実際に体験したり、災害時の食に関してのお話を聞いたりしました。災害はいつ起こるかわかりません。もしもに備え、命を守ることの大切さを学びました。これからも災害時に中学生として自分にできる行動を考えていきます。



災害時の行動を考える



楽しく運動



運搬を体験



災害時の食について

## 第一学年 社会科見学

7月4日（火）に1年生が中学生として初めての校外学習に行ってきました。自分が暮らしている地域について学ぶとともに、そなエリアでの体験を通して防災への意識が高まりました。順調にいかないことも班員で助け合い、協力して取り組むことができました。深めた仲間とのつながりを、今後の学校生活に活かしていきたいと思います。



お昼は木陰でお弁当



そなエリアで防災学習

## 第二学年 職場体験

7月4日から6日までの3日間、職場体験を行いました。飲食・教育・幼児教育・福祉・サービス・販売など、様々な事業所にお世話になりました。普段はできないことを体験することができ、生徒たちの表情も生き生きとしていました。



消防署ではハシゴ車を体験。



スーパーでの品出し。



保育園で幼児のお世話。



信用金庫でお札の教え方を習得。



ホテルの受付の仕事を教わる。



ライター取材方法を学ぶ。



図書館で本を戻す作業。



クリーニング店の裏側に潜入。



ペットショップでうさぎと。

保護者のみなさまへ

学校徴収金（教材費等）7月分を7月18日（火）に引き落とします。7月14日（金）までにご入金をお願いいたします。なお、8月分は8月18日（金）に引き落とします。8月17日（木）までにご入金をよろしくをお願いいたします。